

彫刻家高田博厚展2021



10月28日(木)～11月12日(金)、市民文化センターで「彫刻家高田博厚展2021」が行われました。来訪者は、高田の彫刻作品やアトリエ再現コーナーなどを鑑賞し、文化芸術の秋を堪能しました。

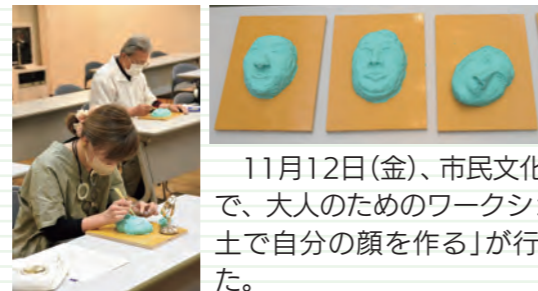


まがたま 勾玉ってなに?聞いてさわって作ってみよう!



10月31日(日)、令和3年度子ども大学ひがしまつやまを開講し、松山市民活動センターで第1回授業「古代ヘタムスリップ! 勾玉を学ぼう」を行いました。勾玉の形や意味、勾玉の原石が葛袋地区で採られていたことなどの講義を受け、焼くと固まる樹脂粘土で勾玉を作成しました。「模様や飾りが付いた勾玉もある」「平たくせず、ふっくらと丸く」など、資料を見て本物の勾玉をイメージしながら形作りしました。

粘土で作る、自分の顔



11月12日(金)、市民文化センターで、大人のためのワークショップ「粘土で自分の顔を作る」が行われました。参加者は、鏡を見ながら自分の顔を制作しました。それぞれ個性的な顔が完成し、自分の作品と他の参加者の作品を見比べて、お互いの感想を伝え合いました。

まちかぞえ スケッチ

この広報紙にあなたが写っていましたら広報広聴課へご連絡ください。写真をさしあげます。

人口と世帯(11月1日現在)	交通事故発生件数(10月中)	市内の空間放射線量測定結果
人口: 90,314人 (+8)	発生件数: 321件※	市内34か所で空間放射線量を定期的に測定しています。
男: 45,427人 (-5)	人身事故: 29件(死者: 0人、けが人: 41人)	11月の測定においても、基準値を下回っています。
女: 44,887人 (+13)	物損事故: 292件	測定結果の詳細については、市HPに掲載しています。
出生(10月中): 44人 (-9)	※東松山警察署管内(東松山市・滑川町・川島町・吉見町)の件数	環境政策課 ☎63-5006 ☎23-7700
死亡(10月中): 79人 (-13)	火災と救急件数(10月中)	
転入等(10月中): 317人 (-5)	火災件数: 3件	
転出等(10月中): 274人 (-7)	救急件数: 395件(交通: 42, 急病: 244, その他: 109)	
世帯数: 41,487世帯 (+15)	搬送人員: 330人	
*()は前月比		

えんじょい スポーツ



S.T.T.C卓球クラブの皆さん

クラブが設立されて約10年、ほぼ毎日、市民体育館で活動している「S.T.T.C卓球クラブ」を紹介します。現在、30代～80代の会員約60人が月曜日～土曜日の都合の良い曜日に練習に参加しています。最近の卓球人気もあって50代、60代から卓球を始める会員が全体の3分の1いるそうです。練習内容を代表の谷口実さんに何うと「基本的な練習が中心。フォアハンド・バックハンド・クロス・ストレートなど、打つコースを変えたり、打つ相手を代えたりしながら基本的な練習を繰り返し、繰り返し、行っています」と話してくれました。

返し、行っています」と話してくれました。クラブ名の「S.T.T.C」とは前代表の鈴木俊夫さんとともに設立に携わった女性会員2人が「鈴木・テニス・クラブ」を略して名付けたそうです。取材した日は、前代表の鈴木さんも練習に参加しており、他の会員の練習になるように球出しをしながら指導していました。鈴木さんは皆さんに楽しく上達して欲しいと球出しを続けています。鈴木さんに練習をみてもらいたくて参加している会員もいるそうです。



前代表の鈴木さん

S.T.T.C卓球クラブの皆さん、いつまでも元気に楽しく卓球を続けてください。

フラダンスで健康に!



11月9日(火)・15日(月)、保健センターで「楽しいフラダンス教室」が行われました。長く健康であるために体を動かすことを目的とした教室で、参加者は音楽に合わせて楽しく体を動かしました。



埼玉県子ども動物自然公園

動物ZOO鑑

～園長おすすめ カンムリシロムク～

青色

カンムリシロムクは、インドネシアのバリ島にのみ生息するムドリノ仲間、野生の生息数は50羽未満といわれている絶滅危惧種です。まっ白な羽に覆われ、翼の先と尾の先に黒いアクセント、目の周りの青色がとても鮮やかで、ある時、脚もうっすら青いことに気付きました。個体識別用の脚環を装着する際、手で捕まえ仰向けにしたときに怒って「カーッ」と開けた口の中まで青かったことにビックリ。さらに、産んだ卵も青色。「この鳥、何から何まで青い!」と感動しました。

それをきっかけに、鳥の羽の色や肌の色が妙に気になりました。鳥類は、哺乳類に比べてなんとたくさんのカラーバリエーションがあるのでしょうか。赤色系、黄色系、緑色系、紫色系、中には1種で何色持っているの?なんて鳥もいます。さらに、光の反射で色が変わるものまでいるのです。私はただただ見とれてしまうのですが、鳥の羽の色の不思議は、これまでに多くの学者たちが研究テーマにしているようです。

カンムリシロムク目の周りの青は、実は羽ではなく皮膚の色。あまり体調がよくないときは少し薄い色になります。ロウバシガンというクチバシが黄色いガンも、具合が悪い時や子育てで体力を消耗しているときは薄い黄色になりました。フラミンゴも子育て中は全身のピンク色が薄くなるのです。高齢になってくると、もちろんみんな色が薄れてきます。体の色は体調や年齢の大事なバロメーターだということを、カンムリシロムクから学びました。

求愛時には冠羽も立ちます

目の周りだけでなく喉も青い

くちばしの黄色いロウバシガン

